

研究課題名	本院における輸血用血液分割製剤の使用実態に関する研究
研究期間	2026 年 9 月 17 日 ～2028 年 12 月 31 日
研究の対象	2021 年 1 月～2026 年 6 月の間に広島大学病院で分割製剤の輸血を受けられた方。
研究の目的・方法	研究目的：新生児を含む小児患者さんの輸血では、体格が小さいため必要輸血量が少なく、国内で供給される輸血製剤の最小単位の使用であっても、製剤が余剰となり廃棄となる場合があります。そのため、無菌的操作により製剤を分割して使用する場合がありますが、分割数や分割後の製剤有効期限等、分割製剤の運用は病院ごとに異なっています。本研究では、当院における分割製剤の使用実態を調査し、現行運用の妥当性を評価するとともに、より適正な製剤利用に向けた運用方法の見直しを検討することを目的とします。 研究の方法：診療録（カルテ）および輸血管理システムに保存されている既存の診療情報を用いて後方視的に解析します。本研究のために新たな検査や採血などを行うことはありません。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、輸血関連情報（輸血量、輸血実施日、）等 情報の管理責任者：広島大学病院輸血部 准教授 藤井輝久
利用または提供を開始する予定日	2026 年 9 月 17 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院輸血部 准教授 藤井輝久
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせ

ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5582 (輸血部)

広島大学病院輸血部 安井歩実